

● 朗読方法について



使用する聖書は何が良いですか？

もしあれば講壇の聖書をお読みになると良いでしょう。講壇の聖書を全巻通して読むことは、なかなかないものです。ある教会では通読後に参加者全員のお名前を記念に講壇聖書に記されたそうです。



具体的な読み方について教えてください

朗読者が講壇に立って読む場合には、時間のロスを避けるために次の朗読者とその次の朗読者は壇上で順番を待つのが良いでしょう。なるべく45分前までには礼拝堂に入り着席し、朗読者一人(15分間)の朗読を聴いた後、壇に上がります。壇上で約30分待った後、自分の箇所を読みます。これにより少なくとも約1時間ほど、み言葉に触れる時間を持つことができます。み言葉に浸る恵みのひと時となるでしょう。



読み方に何か注意することはありますか？

特別にありませんが、読むスピードに気をつけると良いでしょう。速すぎると何を讀んだか分からなくなることがあります。速さに関しては、録音聖書(MP3版)を参考にしてみてください。

お知らせください！

聖書通読リレー開催が決まりましたら、ぜひ日本聖書協会までお知らせください。通読のレポートや写真など一緒にご送付いただければ、ホームページ等で紹介させていただきます。通読リレーを検討中の教会の励ましにもなりますので、お待ちしております。

★ 個人通読もおすすめしています！
詳しくはホームページから

ホームページもご覧ください

過去に聖書リレー通読を実施した教会の例を日本聖書協会のホームページにて掲載しています。



<http://www.bible.or.jp/read/read04.html>

聖書リレー通読マニュアル

聖書全巻リレー通読会のおすすめ

あなたの教会もチャレンジしてみませんか

キリストの言葉があなたがたの内に
豊かに宿るようにしなさい。
知恵を尽くして互いに教え、論し合い、
詩編と賛歌と霊的な歌により、
感謝して心から神をほめたたえなさい。



新共同訳聖書・コロサイの信徒への手紙
3章 16節

聖書全巻を通読するには

96時間(4日間)が
必要です



●左写真/日本基督教団 原町田教会
●中写真/日本キリスト改革派教会 筑波みことば教会
●右写真/日本イエス・キリスト教団 荻窪栄光教会

神の言葉である聖書は、教会に受け継がれてきました。聖書(旧約・新約)を読むこと、そして聴くことは教会に呼び集められた者の務めであり、大きな恵みでもあります。

通読は、聖書66巻(旧約39巻=929章、新約27巻=260章)の1,189章からなり、4昼夜96時間

ほどで通読できます。(旧約続編13巻=176章)。これまでにリレー通読を実施した教会の経験から、この全巻通読マニュアルは作られました。このマニュアルは基本的なパターンをご紹介しますものであり、これを元にそれぞれの教会にふさわしい方法を考案されることをおすすめいたします。



